41 01 08 03 02 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月20日（水）

事務事業	排水機場操作管理事業	担当課	道路河川課	担当係	河川係	管理番号	4144
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政分野別 計画施策 大項目	200005 快適で利便性の高いまち（都市・生活基盤）	根拠法令個別計画等	深谷市排水施設管理規則				
中項目	200001 都市整備の行き届いたまちづくり						
小項目	200004 治水対策の推進						

事業概要	大雨・台風時の内水を河川へ排除し、内水氾濫を防ぎ湛水被害の軽減及び農地の保全を図るため、維持管理及び操作を適切に行う。なお、七間堀・豊里東部排水機場は県営かんがい排水事業、柳原排水機場は備前渠川の築堤工事に伴う機能補償としてそれぞれ整備された。この他、県が管理する清水川排水機場の操作を埼玉県から深谷市が受託している。
目的 ※何のために	浸水・湛水被害の軽減
対象 ※誰・何を対象に	排水機場
手段 ※どのように	施設の運転操作や場内除草等の業務を行う。 設備類の点検・整備・維持管理を行う。
成果 ※何を求めるか	内水（宅地側）の排水を適切かつ円滑に行う。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	08	土木費	03	河川費	02	施設管理運営費	七間堀・東部・柳原排水機場管理事業	60,331,940
一般会計	08	土木費	03	河川費	02	施設管理運営費	清水川排水機場管理事業	3,189,877
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 排水機場施設の維持管理	・
・ 排水機場施設の運転	・
・ 排水機場施設の整備	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			基幹水利ストックマネジメント 事業　負担金（豊里東部）	基幹水利ストックマネジメント 事業　負担金（豊里東部） 適正化事業に伴う補修工事	基幹水利ストックマネジメント 事業　負担金（豊里東部） 適正化事業に伴う補修工事	・維持管理	維持管理 適正化事業に伴う補修工事	
事業費	予算（現額）		134,904,000	61,441,000	74,653,000	26,388,000	29,056,000	
	決算額		127,035,566	56,814,860	61,581,817	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	1,230,000	6,662,000	5,041,877	3,190,000	5,308,000	
		地方債	103,800,000	35,000,000	36,000,000	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	22,005,566	15,152,860	20,539,940	23,198,000	23,748,000	
人件費	従事職員数（人）		1.31	1.31	1.21	1.46	1.46	
	人件費相当試算 ※1		10,190,490	10,194,420	9,511,810	11,896,080	11,896,080	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			137,226,056	67,009,280	71,093,627	38,284,080	40,952,080	

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		目標値／実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
□	活動指標１	維持管理する排水機場数		目標値	箇所	4.00	4.00	4.00	5.00	5.00	5.00	□
				実績値		4.00	4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			維持管理を行っている現在の排水機場実数							
		現在管理を行う排水機場数										
■	活動指標２	排水機場設備機械の点検回数		目標値	回	16.00	16.00	16.00	24.00	24.00	24.00	□
				実績値		16.00	16.00	16.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			七間堀・豊里東部排水機場設備機械の点検回数（月６回＋年次２回）合計値							
		排水機場設備機械の点検数を計る										
■	成果指標１	排水機場設備類点検において、修繕を要する指摘箇所に対する対応		目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
				実績値		100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			修繕を要する指摘箇所については、全てに対応することが適正　なため、目標値は１００							
		対応箇所／指摘箇所										
■	成果指標２	大雨・台風時における排水機場のトラブル件数		目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
				実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			各排水機場において、トラブルを発生させないことが適正なため、目標値は０を設定							
		当該年度の実績トラブル発生実績										
□				目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
				実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠										
□				目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
				実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠										

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 設備機器の点検については計画通り実施し、４箇所全ての排水機場の適正な維持管理に努めることができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 修繕を要する指摘箇所について全て対応し、その結果、大雨・台風時のトラブルは発生せず、適正な運転操作を行うことができた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	河川係長　飯塚　佳樹

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	点検業務については、現在、単年度契約で締結しているが、法定点検の中には複数年に１度の頻度のものもある。市内には複数年契約を締結している施設もあり、一般的には、コスト的にも有利と見込まれることから、これについて検討していきたい。
達成状況 及び その効果	令和２年度に県から明戸北部排水機場の移管が予定されていたため、複数年契約については移管後に検討することとした。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	排水機場操作管理事業	担当課	道路河川課	担当係	河川係	管理番号	4144

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

本事業は、浸水・湛水被害を軽減するために必要不可欠である。このため、日頃から各排水機場の適正な維持管理には細心の注意を払っており、その結果、運転操作の支障となるトラブル等は発生しなかった。豊里東部排水機場については県による設備機器の更新が予定通り完了し、施設の健全性が図られた。

評価者	道路河川課長　今井　吾郎

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

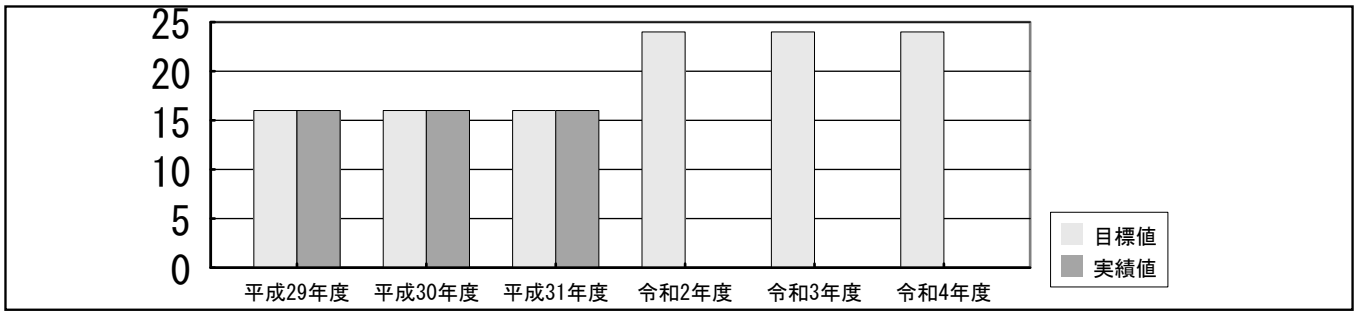
改善・改革案	老朽化が目立ってきている柳原排水機場の更新について検討が必要となるが、受益の大部分は本庄市であるため、本庄市との調整による運用改善を行う。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

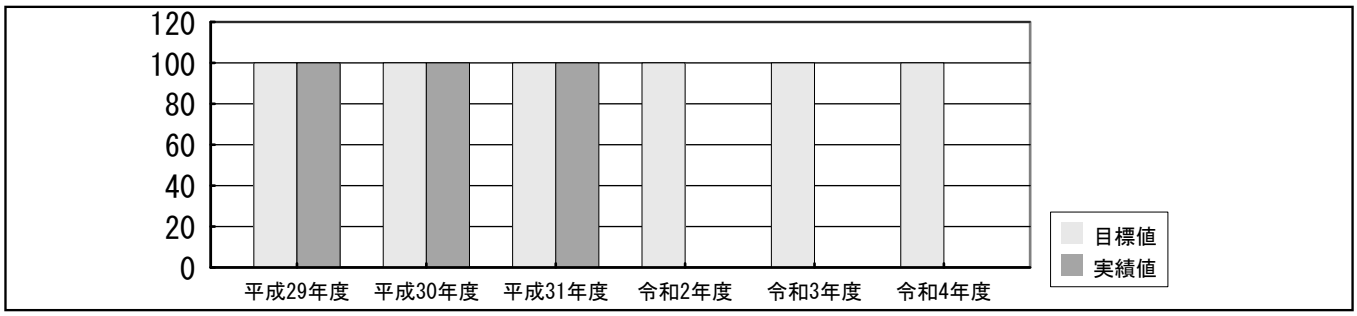
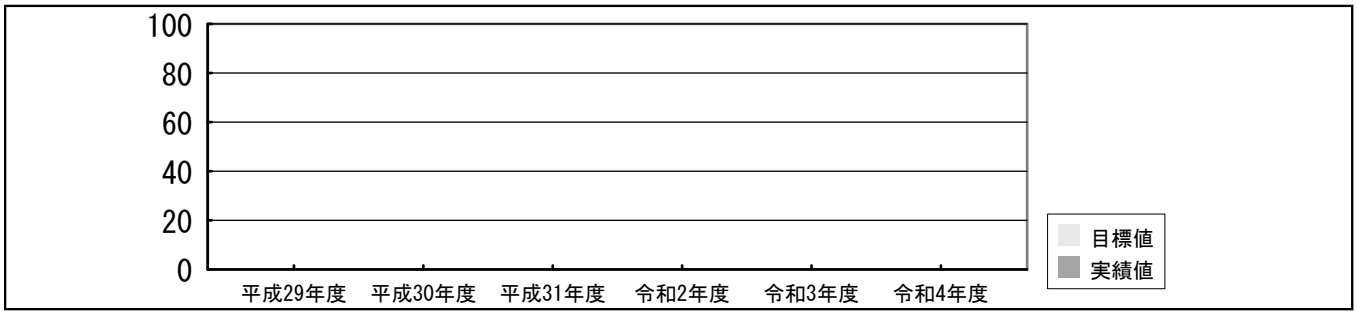
今後の課題	令和２年度より明戸北部排水機場が県より移管されるため、明戸北部排水機場の適正な操作の習得、管理体制の早期確立が課題となる。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標２	指標名	排水機場設備機械の点検回数



区分	成果指標１	指標名	排水機場設備類点検において、修繕を要する指摘箇所に対する対応



区分	成果指標２	指標名	大雨・台風時における排水機場のトラブル件数